

編集後記

2008年に創刊された創価教育研究所の紀要『創価教育』は、早くも第10号の節目を迎えた。時を同じくして、2016年4月をもって本研究所の所長・副所長が交代し、新たな体制のもと研究活動等の充実を図っていくこととなった。創立者池田大作先生および創価教育の淵源たる牧口常三郎先生、戸田城聖先生の思想と実践の研究をさらに深化させるとともに、2021年の創価大学創立50周年に向けて大学史編纂の準備を進めてまいりたい。

本紀要では、毎年、大学の主要な式典における来賓の祝辞を特別講演として掲載している。本号では、元国連事務次長であるアンワル・K・チョウドリ氏が、第42回創価大学・第30回創価女子短期大学卒業式(2016年3月18日)で寄せられた祝辞、そしてアメリカ・デンバー大学名誉教授のベッド・P・ナンダ氏が第46回創大祭・第32回白鳥祭記念「創価栄光の集い」(2016年10月8日)で行われた記念講演の2本を収録している。

研究ノートは、本研究所の教員による論考2本を収録した。伊藤貴雄副所長による「高崎隆治の戸田城聖研究」は、戦時下文学・戦時下ジャーナリズムの研究家である高崎隆治氏による戸田城聖研究の特徴と意味について考察している。坂口所員による論考は、本研究所の研究会での報告に基づくものであり、アーカイブズの整理と公開について論じている。

講演は、2016年度に行われた創価教育に関する講演の中から2本を収録した。ジェイソン・グーラー氏(アメリカ・デポール大学池田大作教育研究所所長)の「ジョン・デューイと創価教育」は、2016年12月5日に本研究所が開催した講演会での講演である。本講演会は、1996年6月に行われた創立者のコロンビア大学ティーチャーズ・カレッジでの講演「『地球市民』教育への一考察」20周年を記念して開催したものである。本学の田中亮平副学長による「創価大学の価値創造教育、そのコンセプトと実践」は、ケニア・ナイロビ大学における「持続可能な開発のための価値創造教育に関する国際会議」(2016年9月)の基調講演として行われたものである。

高橋報告は、中国における「池田思想」研究の動向をまとめており、本号で13回目を迎える。2016年度に開催された池田思想研究の学術シンポジウム等のほか、新たに設置された池田大作研究機関、池田研究の成果等を紹介している。

資料紹介では、牧口常三郎研究の第一人者であった斎藤正二氏の遺稿である「『人生地理学』補注」補遺(5回目)を収録している。また、高崎隆治氏インタビュー「戸田城聖の平和思想」は、学生自治会が発行した『創価大学 学生平和論集』第3集(2005年7月発行)に収録されたインタビューを、学生自治会ほか関係者の了承を得て再録したものである。

最後に今回の紀要作成に際し、紀伊國屋書店をはじめ御協力・御尽力いただいた方々に、この場を借りて篤く御礼を申し上げたい。

2017年3月16日 (T.S.)